

■ コンロからの火災を予防しましょう



「コンロ」からの火災は毎年出火原因の上位にあげられます。

「コンロ」からの火災はヒューマンエラーによるものがほとんどであり、火災に繋がるという認識の薄れが原因です。

時として、新潟県糸魚川市で発生した火災（平成 28 年 12 月 22 日）や「東京築地場外市場で発生した火災（平成 29 年 8 月 5 日）」のように大規模な火災へ発展することもあります。

当消防本部管内で実際にあった以下の事例を確認して火災を起こさないように注意しましょう！

コンロからの出火

火災事例 1 「放置する・忘れる」

【全焼火災】

併用住宅の店舗厨房において、食用油が入った鍋を火にかけてそのままその場を離れたため、食用油が過熱され発火した。

【ぼや火災】

焼肉店において、スープをつくるため牛肉を入れた鍋を火にかけてそのまま外出したため、牛肉から出た脂が過熱され発火した。

【ぼや火災】

一般住宅において、ガステーブルのグリルで魚を焼いている際にその場を離れたため、グリル内に溜まっていた油が過熱され発火した。



火災事例 2 「可燃物が接触する」

【ぼや火災】

一般住宅において、ガステーブルに火をつけた際に誤って着衣に着火した。死者 1 名。

【ぼや火災】

一般住宅において、鍋を火にかけている際に付近の冷蔵庫を開けたところ、着衣の袖が火に接触したために着火した。負傷者 1 名。



🔥 火災事例3 「伝導過熱する」

【部分焼火災】

ラーメン店において、コンロと壁面が接近した状態で長期間使用していたことから熱が伝導したため、壁面内の木材が炭化し出火した。

【ぼや火災】

店舗併用住宅の飲食店舗部分において、コンロと壁面が接近した状態で長期間使用していたことから熱が伝導したため、壁面内の木材が炭化し出火した。



🔥 火災事例4 「考え違いにより使用誤る」

【ぼや火災】

共同住宅において、ガステーブルの上に電子レンジ専用調理器を置き、魚を焼こうとして点火したために調理器に着火し出火した。

【ぼや火災】

一般住宅において、ガステーブルの上にグリル鍋を置き、グリルスイッチと間違えてガステーブルのスイッチを点火したため、グリル鍋に着火し出火した



コンロ火災を防ぐポイント

- ◆ 火気を使用している際はその場を離れず、離れる場合は短い時間でも火を消しましょう。
- ◆ コンロの周囲は整理整頓し、可燃物などの燃えやすいものは近くに置かないようにしましょう。
- ◆ コンロ（グリル）やコンロの周囲に付着している油や食品はふき取りましょう。
- ◆ コンロの上には一時的にでも物を置かないようにしましょう。
- ◆ 調理をするときはゆったりとした服での調理は避けエプロンやアームカバーをつけるなど、炎が着ている衣服に燃え移らないように対策をとりましょう。